

春まきたまねぎ栽培のネギアザミウマに対する各種殺虫剤の評価

【1 成果概要】

- (1) 岩手県の春まきたまねぎ栽培では、ネギアザミウマによる葉身への激しい食害（図1）により収量が2割～4割低下するため、ネギアザミウマの防除は必須です。しかしながら、たまねぎのネギアザミウマに対しては効果に乏しい登録薬剤も多く含まれるため、適切な薬剤選択が重要と考えられます。
- (2) そこで、2013～2019年の試験成績を元に、各種殺虫剤の防除効果について再評価したところ、春まきたまねぎ栽培のネギアザミウマに対してプロチオホス乳剤1,000倍（商品名：トクチオン乳剤）、フロメトキン水和剤1,000倍（商品名：ファインセーブフロアブル）の効果が高いことがわかりました（表1）。

表1 春まきたまねぎ栽培のネギアザミウマに対する各種殺虫剤の評価

系統名	種類名	(商品名)	希釈倍数	試験評価数 (2013～2019年)			総合評価
				◎	○	△	
有機リン	アセフェート水和剤	(オルトラン水和剤)	1,000倍		1	1	○
	クロルピリホス乳剤	(ダズバン乳剤40)	1,000倍	1	1		◎
	プロチオホス乳剤	(トクチオン乳剤)	1,000倍	7			◎
ピレスロイド	シペルメトリン乳剤	(アグロスリン乳剤)	2,000倍	1	1	1	○
	トラロメトリン水和剤	(スカウトフロアブル)	2,000倍		1		○
			3,000倍		1		○
ピレスロイド+IGR	シハロリン・ジフルベンズロン水和剤	(ビリーブ水和剤)	1,500倍		2		○
ネオニコチノイド	アセタミプリド水溶剤	(モスピラン水溶剤(顆粒水溶剤))	2,000倍			3	△
	イミダクロプリド水和剤	(アドマイヤー顆粒水和剤)	5,000倍			1	△
スピノシン	スピネトラム水和剤	(ディアナSC)	2,500倍		3		○
			5,000倍		2	1	○～△
ネライストキシシン	チオンクラム水和剤	(リーフガード顆粒水和剤)	1,500倍			1	△
	カルタップ水溶剤	(パダン顆粒水溶剤)	1,500倍			1	△
ジアミド	シアントラニリブロール水和剤	(ベネビアOD)	2,000倍	1		1	○
その他	フルキサメタミド乳剤	(グレーシア乳剤)	2,000倍	1	2		○
			3,000倍	1	2		○
その他	フロメトキン水和剤	(ファインセーブフロアブル)	1,000倍		2		◎
			2,000倍		2		○
その他	ピリフルキナゾン水和剤	(コルト顆粒水和剤)	2,000倍			1	△



図1 ネギアザミウマ

【2 効果】

殺虫剤を適切に選択することで、本県産たまねぎの高品質安定生産に寄与します。

【3 留意事項】

- (1) フロメトキン水和剤はネギアザミウマ専用剤として、本種多発時の特別散布に位置付けて下さい。
- (2) たまねぎにおける本種の生息部位は芯葉であり、薬剤が虫体には直接かかりにくいのです。このため、ネギアザミウマに対する各殺虫剤の効果が他品目と異なりますので御注意下さい。
- (3) 試験時には展着剤（商品名：ミックスパワー）を加用しています。
- (4) 詳細については、「令和元年度試験研究成果」をご覧ください。

【4 適応対象】

- (1) 地帯 県内全域
- (2) 対象者 営農指導者（農業普及員等）

※ 本成果は農研機構生研支援センター革新的技術開発・緊急展開事業（うち経営体強化プロジェクト）「寒冷地の水田作経営収益向上のための春まきたまねぎ等省力・多収・安定化技術の開発とその実証」による成果です。

担当研究室 園芸技術研究部 野菜研究室

〒024-0003 岩手県北上市成田 20-1

TEL. 0197-68-4419

FAX. 0197-71-1083